

等々力防災 Watch!

No.14

風水害へ備えよう!



台風は毎年のように日本に襲来して、大きな被害をもたらしています。また、近年は豪雨や局地的大雨での被害も大きくなっています。しかし、風水害は、突然大きな揺れに襲われる地震と違い、ある程度予測することができます。大切なのは、「大雨が予想される」などの情報を聞いたときに、状況判断し正しい行動をとることです。今号は、風水害の特徴や備えなどを掲載しています。風水害の知識を身に付け、風水害に備えましょう。

台風による被害

台風は7月～10月にかけて接近・上陸が多くなります。東京でも台風に伴う災害が起こっており、令和元年東日本台風（台風第19号）では等々力地区でも甚大な被害がありました。

台風第19号による玉川地域の被害

罹災証明書等の件数（令和3年2月28日現在）

一部損壊	半壊	全壊
191件	313件	1件



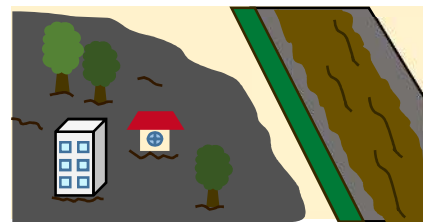
河川の氾濫とは

- 大雨で川の水位が上がって、堤防の高さを越えたり、堤防が壊れたりすることで川から水があふれることを外水氾濫といいます。街中でよく見られる小さな川（丸子川、谷沢川など）と、河川敷にグラウンドがあるような大きな川（多摩川など）では、流域面積が異なることで、被害の大きさや、氾濫までの時間が違います。丸子川および谷沢川流域では、以前からも台風や集中豪雨などで広範囲な浸水被害が起こっています。
- 急激な豪雨が発生し、雨量が下水道などの排水能力を超えたとき、道路が冠水することを内水氾濫といいます。

外水氾濫



内水氾濫



土砂災害とは

- 大雨によって山や谷、がけが崩れて、土砂が押し寄せてくる現象です。
- しみ込んだ雨水が多くなるほど、地面は柔らかくなって崩れやすくなります。
- 典型的な土砂災害として、崖崩れ、地滑り、土石流があります。世田谷区内で発生する恐れのある土砂災害は「崖崩れ」で、等々力地区では、等々力溪谷沿いなどが土砂災害特別警戒区域に指定されています。また、土砂災害には地鳴りなどの前兆現象が発生する場合があります。

崖崩れの前兆

崖にひび割れができる、小石がパラパラと落ちてくる、崖や斜面から水が湧き出る、湧水がとまる・濁る、地鳴りが聞こえる、など。



気象情報や避難情報を確認しましょう

台風や大雨などに関する警報や注意報等は気象庁、避難情報等は区市町村から発表・発令されます。必ずしも気象情報と避難情報が、同時に発令されるわけではありません。

警戒レベル	避難情報等	気象情報	取るべき行動
5	災害発生情報 (災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令)	氾濫発生情報 大雨特別警報	既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。
4 全員避難	避難勧告 避難指示(緊急) (地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合に発令)	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報等	速やかに避難先へ避難しましょう。避難場所までの移動が危険な場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
3 高齢者等は避難	避難準備・高齢者等避難開始	氾濫警戒情報 大雨、洪水警報等	避難に時間の要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
2	大雨注意報、洪水注意報等		避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。
1	早期注意情報等		災害への心構えを高め、今後の情報を注視しましょう。

要配慮者への支援

高齢者や子ども、障害のある方などは、情報収集や避難行動などで、困難な状況に置かれることが多く、支援が必要になります。台風第19号時には、高齢者や障害のある方に避難を呼びかけて回るなどの活動を行った方がいました。日頃から近所の要配慮者を知り、災害時の行動を近隣住民で決めておくなど地域との交流を積極的に行い、いざというときの援助ができるようにしましょう。

避難行動について

水平避難

水平避難とは、ご自身で決めた避難先(避難所、ホテル、友人宅など)へ移動することです。多摩川の洪水浸水想定区域内の方は水平避難が原則です。

垂直避難

垂直避難とは、建物の2階以上等へ移動することです。多摩川などの大きな河川から離れているが、内水氾濫等で自宅が浸水の恐れがある場合には、建物の2階などに避難しましょう。

ハザードマップを確認しておきましょう!

水害時避難所は、台風の接近などにより大雨が予想され、多摩川の洪水の恐れがある場合、2段階に分けて開設されます。

	開設のタイミング	等々力地区近隣の避難場所
水害時避難所(第1次)	台風接近・通過 前日 までに開設	八幡小学校、中町小学校、玉川中学校等
水害時避難所(第2次)	台風接近・通過 当日 に開設	尾山台小学校、尾山台中学校、九品仏小学校、玉川小学校等



土砂災害時避難所：尾山台小学校、尾山台地区会館、玉川小学校等

配布場所：各総合支所地域振興課、街づくり課、まちづくりセンター等

発行者：等々力地区区民防災会議
事務局：世田谷区等々力まちづくりセンター
TEL 03-3702-2143 FAX 03-3702-0942

「等々力防災 Watch!」は春と秋の年2回発行しております。

印刷費の一部には、等々力地区の古着・古布回収の売り払い金が充てられています。 R3.4